



やまだこどもクリニック

〒292-0038

千葉県木更津市ほたる野 3-23-6

TEL 0438-30-5325 / FAX 0438-30-5326

URL <http://www.yamadakodomo-clinic.com/>

Company data

小児外科専門医 / 医学博士 / 院長

山田 慎一

埼玉県出身。小学生の頃から医療の世界を志す。医者として勤め始めてからは、自ら進んで当直を担当するなど、医療だけでなく医療現場の実状を知ることにも熱心に励む。開院した現在は小児外科医として活動しながら、保護者に向けた保育園講演も行っている。

Personal data



惜しみなく知識提供を行う 地域密着のかかりつけ医

矢部 2013年4月の開業、おめでとうございます。診療科目は小児科・小児外科だと伺っています。

山田 18年にわたるこれまでの小児医療の経験を活かし、お子さんにとって、親御さんにとって最善の選択は何なのかと常に考え、地域に根付く医療を提供していきたいと考えています。ちょっとしたことで、いつでも気軽に来院して頂ける「かかりつけ医」のような存在として認知して頂けたら嬉しいですね。

矢部 まだ上手く言葉を話せない子どものことだからこそ、何でも相談できるお医者さんが身近にいてくだされば親御さんも安心ですね。

山田 親御さんたちには、お子さんの病気のことでだけでなく雑談をしに来て頂くだけでも大歓迎。もともと、親御さんと

お子さんのことを話すことが好きなんです。それも地域に密着している当院だからできること。以前勤めていた君津中央病院ではお子さんの身体の状態を心配する親御さんからの夜間の電話が多く、その対応に追われることもあったんです。

矢部 私も当事者だとしたら、その親御さんたちと同じ対応をしてしまうかもしれません…。

山田 私も子どもを持つ親なので、お気持ちはわかります。しかし24時間対応であってもそれは本来、喘息発作やその時間に対応しないと状態が悪くなる可能性が高い場合に診療するためのもの。「大丈夫だと思うけど念のため」という理由で夜間に受診する子どもが増えると、本当に治療が必要な状態の方に対応できない可能性もでてきてしまうんです。

矢部 でも、子どもが体調不良だと親御さんは気が気ではないと思います。その場合はどうしたらよいのですか？

山田 一番は親御さんたちが、子どものかかりやすい病気の正しい知識を得ること。子どもの病気についての冊子を配っている市町村もありますが、大切なことはやはり直接話を伝えなければと感じ、私は2008年から保育園での講演も始めたんです。君津中央病院小児科の現状ですとか、子どものかかりやすい病気の対処法を中心に親御さんたちにお話していますよ。

矢部 実際に講演を始めた感想はいかがでしょう。

山田 好評を頂いており、私自身もっとも話を伝えたいと感じています。夜間に子どもを守ることができるのは、親御さんですからね。是非、正しい知識をつけて頂きたいと考えています。

矢部 そんな山田先生の今後のビジョンをお聞かせください。

山田 様々な原因で重度の障害を抱えた方のアフターケアに携われる施設を10年後を目安に設けたいですね。その場で懸命に命を救うことはもちろん、医師という命—人生に関わる者としてその先を見据えた活動にも力を入れていきたいと考えています。



Guest Comment

矢部 美穂 (女優)

自身も親である山田先生は、誰よりも親御さんの気持ちを理解されています。同時に医師として、医療現場を知っていることから問題点も把握していらっしゃる。それぞれの視線を大切にしながら取り組んでいる姿勢から、熱い気持ちに寄り添う優しい気持ちが窺えました。